

神經變性疾患研究室

神経変性疾患研究室

A. 論文

①原著

欧文論文

A-①

1. Yoshiyama Y, Kojima A, Ishikawa C, Arai K. Anti-inflammatory action of Donepezil ameliorates tau pathology, synaptic loss, and neurodegeneration in a tauopathy mouse model. J Alzheimer dis. 22: 295-306, 2010.

B. 学会発表

①国際学会

B-①

1. Yoshiyama Y: High calorie diet enhanced, but voluntary exercise restored tau pathology in a tauopathy model mouse. Alzheimer's association international conference on Alzheimer's disease, 2010.7.11-15 Honolulu, Hawaii.

②国内学会

B-②

1. 新井公人、吉山容正、伊藤喜美子、早川省 比較的良好な経過を呈する症例からみた CJD サーベイランスの問題点 第 51 回日本神経学会総会, 2010.5.20-22 東京
2. 吉山容正、石川千恵子、新井公人、伊藤喜美子 メタボリックシンドロームと神経変性：タウオパチーモデルマウスを用いた検討 第 51 回日本神経学会総会, 2010.5.20-22 東京
3. 柏戸孝一、吉山容正: アルツハイマー病スクリーニングテスト「脳の健康診断」の有用性. 第 51 回日本神経学会総会, 2010.5.20-22 東京
4. 吉山容正: アルツハイマー病の最新治療・治療薬の動向. 第 14 回千葉認知症研究会 2010.6.19 千葉
5. 加藤麻美、男澤聡子、鈴木遥、米川敦子、中村和代、新井公人、吉山容正、伊藤喜美子 筋萎縮縮性側索硬化症 (ALS) 患者・家族への心理支援について—看護師と心理療法士の

- 協働― 第 2 回関東信越ブロック神経・筋疾患ネットワーク研究会, 2010.6.25 千葉
6. 吉山容正: スタディーグループ 3 : 次世代の対認知症戦略. 第 20 回日本臨床精神薬理学会、第 40 回日本神経精神薬理学会 2010.9.15 仙台
 7. 吉山容正: 若年性認知症. 第 58 回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5 浦安
 8. 加藤麻美、男澤聡子、鈴木遥、米川敦子、中村和代、新井公人、吉山容正、伊藤喜美子 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者・家族への心理支援について ―看護師と心理療法士の協働― 第 64 回国立病院総合医学会, 2010.11.26-27 福岡
 9. 吉山容正、伊藤喜美子、新井公人 ドネペジル (アリセプト) の抗炎症作用が神経変性を抑制する 第 1214 回千葉医学会例会, 2010.12.11 千葉

C. 講演会・研究会

1. 吉山容正 長生認知症研究会での講師・2010/5/18・千葉
2. 吉山容正 神経内科研修セミナー 2010 前期での講師・2010/7/1・千葉
3. 吉山容正 鴨川認知症カンファレンスでの講師・2010/7/2・千葉
4. 吉山容正 第 1 回東金認知症クリニカルカンファレンスセミナーでの講師・2010/7/21・千葉
5. 吉山容正 第 1 回成東認知症クリニカルカンファレンスセミナーでの講師・2010/7/28・千葉
6. 吉山容正 第 1 回東金認知症クリニカルカンファレンスセミナー (2 回目) での講師・2010/8/18・千葉
7. 吉山容正 第 1 回成東認知症クリニカルカンファレンスセミナー (2 回目) での講師・2010/8/25・千葉
8. 吉山容正 「あきらめない 最新医療と支える社会」認知症フォーラムでの講師・

2010/9/4・千葉

9. 吉山容正 平成22年度在宅ケア研修会での講師・2010/9/12・千葉
10. 吉山容正 第1回東金認知症クリニカルカンファレンスセミナー（3回目）での講師・2010/9/22・千葉
11. 吉山容正 第1回 Chiba Dementia Conference での講師・2010/9/29・千葉
12. 吉山容正 千葉市医師会認知症市民公開講座での講師・2010/10/16・千葉
13. 吉山容正 第1回成東認知症クリニカルカンファレンスセミナー（3回目）での講師・2010/10/20・千葉
14. 吉山容正 「みんなで支える認知症、そのために必要な知識」市川市介護支援専門員協議会及び市川市医師会合同研修会での講師・2011/1/15・千葉
15. 吉山容正 第2回花見川区認知症治療を考える会での講師・2011/1/27・千葉

D. 研究助成金獲得状況

科学研究費(C) 「メタボリックシンドローム」と認知症の関連の解明：認知症モデルマウスを用いた研究 吉山容正

治験実施状況

1. SUN Y7017（メマンチン塩酸塩）の高度アルツハイマー型痴呆に対する長期試験
2. E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する臨床第 II/III 相試験
3. E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する長期試験
4. E2020 のレビー小体型認知症（DLB）を対象とした継続長期投与試験
5. A Phase 3, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled,

Parallel-Group Efficacy and Safety Trial of Bapineuzumab (AAB-001, ELN115727) in Subjects With Mild to Moderate Alzheimer Disease Who Are Apolipoprotein E ϵ 4 Carriers [アポリポタンパク E ϵ 4 を有する軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の有効性及び安全性を検討する第 3 相, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間試験]

6. Ropinirole PR/XR 錠の L-dopa 製剤併用のパーキンソン病患者に対する臨床評価

7. SPM962 の L-dopa 併用下パーキンソン病患者を対象としたプラセボ及びロピニロールを対象とした二重盲検 3 群間比較試験

8. SPM962 の L-dopa 併用下パーキンソン病患者を対象とした第 III 相試験 (243-08-001) の継続長期投与試験

9. 軽度から中等度のアルツハイマー型認知症外来患者を対象とした 3 用量の SAM-531 を 52 週間投与した時の有効性及び安全性を評価する, 2 期, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, ドネペジル塩酸塩参照, プラセボ対照比較試験

10. A Phase 3, Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Parallel-Group Efficacy and Safety Trial of Bapineuzumab (AAB-001, ELN115727) in Subjects With Mild to Moderate Alzheimer Disease Who Are Apolipoprotein E ϵ 4 Non-carriers [アポリポタンパク E ϵ 4 を有さない軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の有効性及び安全性を検討する第 3 相, 多施設共同, 無作為化, 二重盲検, プラセボ対照, 並行群間試験]

11. KW-6500 第 III 相臨床試験 (パーキンソン病患者を対象とした長期の在宅自己注射における安全性試験)

12. 3133K1-3001-WW 試験に参加したアポリポタンパク E ϵ 4 を有するアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の長期的安全性及び忍容性を検討する第 3 相, 多施設共同, 長期継続投与試験

13. 3133K1-3001-WW 試験に参加したアポリポタンパク E ϵ 4 を有さないアルツハイマー型認知症患者を対象とした AAB-001 の長期的安全性及び忍容性を検

討する第3相、多施設共同、長期継続投与試験

14. 中等症～重症パーキンソン病日本人患者を対象としたプレラデナントを12週間投与した際の有効性及び安全性を評価する第II相、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照用量設定試験

15. E2020 のレビー小体型認知症（DLB）を対象とした二重盲検並行群間比較及び継続長期投与試験

F. その他

1. 課題名：軽度認知機能障害（MCI）から初期アルツハイマー病に移行する際の客観的な指標と基準値を探るための共同試験（J-ADNI：Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative）

主任研究者名：東京大学 井原康夫

共同研究者名：吉山容正

2. 新聞記事 読売新聞 9月28日 朝刊

